

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

第75回 ビジネス文書実務検定試験 (7.11.23)

第3級

速度部門問題

(制限時間10分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

[書式設定]

- a. 1行の文字数を30字に設定すること。
- b. フォントの種類は明朝体とすること。
- c. プロポーショナルフォントは使用しないこと。

[注意事項]

1. ヘッダーに左寄せで受験級、試験場校名、受験番号を入力すること。
2. 問題のとおり、すべて全角文字で入力すること。
3. 長音は必ず長音記号を用いること。
4. 入力したものの訂正や、適語の選択などの操作は、制限時間内に行うこと。
5. 問題は、文の区切りに句読点を用いているが、句点に代えてピリオドを、読点に代えてコンマを使用することができる。ただし、句点とピリオド、あるいは、読点とコンマを混用することはできない。混用した場合はエラーとする。
6. 時間が余っても、問題文を繰り返し入力しないこと。

受験番号

第75回 ビジネス文書実務検定試験 (7.11.23)

第3級 速度部門問題 (制限時間10分)

回転寿司は、手軽に食べられることで人気だ。今はタッチパネル
で注文を受け付け、商品が店内を回らない店舗が増えている。多く
のチェーン店においては、客席に直接届けるレーンを設置する店舗
もある。

それにより、注文分のみの調理で済むため、食品ロスと作業量が
削減された。店舗によっては、自動で皿をカウントする仕組みを取り
入れ、従業員が数える手間をなくしている。さらに、セルフレジ
を設置することで、人手不足の解消にもつながっている。

近年、多言語に対応したシステムが導入され、海外からの観光客
にも好評だ。和食の代表格である寿司は、多くの人が楽しく食べら
れるようになっている。時代に合わせ、この業界はこれからも進化
していくだろう。